

## 白井第二小学校区まちづくり協議会設立準備会第5回会議事録（概要）

- 日時：令和3年6月26日（土）午後7時00分から  
場所：公民センターレクホール  
出席者：小林正継会長、染谷敏夫副会長、小松正信副会長、山本敏伸事務局長、渡辺康夫広報、永井英明書記、川上利一書記、山崎正司（中）、酒井正男（中峠団地）川鍋敏夫（折立）森山光男（富塚）山本忠昭（白井工業団地）岡田純一（今井）山崎嘉秋（名内）山崎一之（平塚東）大井信幸（平塚西）福田孝一（民生員）小林清隆（高齢者クラブつくし会）海老原進（体験農園）伊藤忠昭（第二小）富澤好由・滝田潔（まちづくりプロジェクト）  
岡田部長、市民活動支援課松岡課長、高橋 公民センター折山副センター長、中島  
欠席：赤瀬幸子（おはなしの玉手箱）、山崎洋子（まちづくりプロジェクト）  
川上達也（青少年相談員）  
傍聴：紙ひこうき住田和人（取材）、今井美由紀  
会議の様子が紙ひこうきのサイトに掲載される。
- 資料：①会議次第 ②取り組み事業出しシート ③別添1グループ分け ④第4回準備会会議録 ⑤第45回環境講座チラシ・環境塾

### 小林会長挨拶

- ・7月8月の準備期日程変更について7月31日→7月30日（金）に、8月28日→27日（金）に変更し開催することが了承された。
- ・本日紙ひこうきの取材申し込みがあった。会議風景の写真撮影を行うことについて了承された。
- ・前回会議ではキャッチフレーズが決まった。本日は具体的にどういふことをやるか、取り組み事業について検討する。シートを用いて発表し、最後にシートを提出してほしい。本日は結論を出すということではなく、重なっているものでもよいのですべて出してほしい。

議題（1）取り組み事業について 3グループに分かれ、検討後各グループから取り組み事業について発表を行った。

### 1. 交通安全・防災・防犯

#### ○交通安全 取り組み事業

- ① ながら見守り（仕事や散歩散歩をしながら）
- ② 交通安全指導（学校周辺交差点での児童の見守り）  
交通安全教室の実施（警察などの協力が必要）
- 登下校時の見守り（PTAの協力で月2回程度実施）・・・児童数の減少により実施が難しい

#### ○防災 取り組み事業

- ① 学校と連携した防災訓練
- ② 防災・災害学習会（地域ぐるみでの防災力の強化、炊出し、避難方法を学ぶ）
- ③ 防災倉庫の確認（自治連支部で行っている確認をまち協で行う）  
以下の項目については同率で4番目とした。
- ④ 防災訓練（自宅のできる防災について、避難所運営をとおした勉強会HUG等）
- ④二小区防災パンフレットの作成
- ④防災マップの作成
- ④自宅のできる防災マニュアルの作成
- ④災害時の救援体制の構築
- ④独居高齢者の情報の共有

#### ○防犯 取り組み事業

- ①ながら見守り（仕事や散歩をしながら）・・・交通安全と同じ
- ②青パトによる防犯パトロールの実施（意見3件）
  - ・実施回数月2回 → 週1回に拡大
  - ・時間帯を変えることにより、不法投棄防止パトロールも兼ねる。
- ③こども110番協力者を増やす。
  - ・人がいることをアピールし防犯効果を高める。
  - ・実施主体のP連との調整が必要
- ④空き家マップの作製
  - ・調査が必要
  - ・自治会、地区社協との調整が必要
- ⑤防犯カメラの設置
  - ・実施方法は検討が必要
  - ・不法投棄防止も兼ねる

- ・事業者と協働で実施
- 2. 生活マナー・環境美化・景観・ごみ減量化資源化・地域環境  
ぜひとも進めたい項目として3項目を選択した。
- ①ごみ減量化資源化
- ②ごみゼロの拡充 地区や団体と連携
- ③沿道みどりの拡充 (沿道や下手賀沼沿い、少し入った空き地など)
  - ・やり方として各地区との相談し負担が増えないように行う。

その他に出た取り組み事業

- ① ごみの減量・資源化
  - ・農道に多い粗大ごみの回収を早くする
  - ・資源化—ごみの分別の徹底・有価物の回収 (集積所を学校に?)
  - ・まちピカ大作戦を活用し2~3か月おきに草刈りを実施  
目的:管理してごみを捨てにくくする。
  - ・ごみゼロを充実・・・・統一して実施する。  
春に1回、秋にも増やす・まず足元からきれいにする。
  - ・日頃からごみを拾う習慣を
  - ・ポイ捨ての削減・・・・通っている人がごみを捨てている  
企業にマナー教育をお願いする

- ②景観づくり
  - ・花の街道づくり・・・あじさい・彼岸花・水仙  
カンナ街道とその他の花の植栽  
花いっぱい運動
  - ・下手賀沼の土手の整備 (草刈り)
  - ・金山落としの土手の草刈り
  - ・景観の展示・・・写真・絵など
  - ・花壇整備・・・第二小、旧平塚分校

3. 伝統文化・福祉・高齢者障がい者支援・地域活性化・住民同士の交流・その他

- ① 夏祭り (第二小学校の校庭で開催)・・・昔は各地区で行っていたが、なくなった。夏祭りが  
ないのは二小区のみのため、工業団地協議会などが公民センターで行っているものを第二小の校  
庭に移し全体の祭りとして開催する。  
第二小児童の発表も入れる (太鼓など)
- ②耕作放棄地の活用・・・農地法の壁があるが考えていかないといけない。  
農業につく人への支援 (障がい者、高齢者)  
企業が農地での就労支援で産業 (企業、工業団地と障がい者雇用も)・農業・所有者に耕してもら  
う。  
耕作放棄地で野菜、花の栽培との意見もあった。  
耕作放棄地を減らす。新規就農者への支援窓口の設  
置 — 夫婦移住等促進  
研修情報
- ③第二小カレンダーの作成・・・地域情報載せる  
1月ならだれかが撮った写真や、中に載せる記事も  
みんなで相談して載せる。
- ④歴史的なものをつなぐ散策路整備・・・鮮魚街道、下手賀沼、カンナ街道をつなぐ。散策時  
にごみ拾いをしてよい。  
小森城~古墳 整備し看板をつける・巡りから勉強
- ⑤外国人との共生・・・夏祭りに参加してもらう。国際交流協会が考えてい  
る。
  - ・外国人との交流 公民センターで宝物マップの活用 巡る、廻る
  - ・調査・居住の把握・訪問
  - ・学校訪問 (第二小、白井中の見学)
  - ・会社訪問
  - ・農業体験 — 休耕田畑、家庭菜園の体験、梨農家の見学
  - ・イベント等への参加 — 鮮魚街道を整備し看板をつける  
小森城址や古道などをめぐりながら勉強する。
- ・交流会・お互いに知り合う
- 伝統文化
  - ・はやし保存会、太鼓

- ・神社仏閣のもり、景観のためとまち協で  
福祉情報センター — ネットワーク、ボランティアなどが情報の収集と拡散
  - ・高齢者のため。免許返納後車ので移動ができなくなる — 交通機関の整備が必要
  - ・障がい者の就労支援
  - ・農業 — お金、生きがい、花を作る
- ほっこり市・・・公民センターの事業をまち協で

○岡田部長感想

- ・この地域に密着した内容でよかった。
- ・空き家対策も仕事の1つになっている。市としても地権者等に話をしているが改善に向かわないにあるが地域で声をあげるにより改善につながる。
- ・耕作放棄地も草刈りされていないので草刈りだけでもできるとよい。
- ・今後内容を吟味して計画策定につなげていければよい。

○松岡課長感想

- ・分野ごとに幅広い議論がされていた。グループによっては具体的なアイデアの提案もあった。
- ・分野を組み合わせると魅力を引き出せるものもあると思う。
- ・本日の話し合いをさらに充実させるようにしていけたらよい。さらに1歩進んだ意見をもってきてほしい。

次回日程

- ・第5回準備会 7月30日（金）午後7時から